

てくてく  
ウォーク  
115

鯨ヶ丘  
文化財巡りコース

〔スタート〕郷土資料館(梅津会館)

▼距離:約2km

▼時間:約1時間半

今回ご紹介するのは鯨ヶ丘の文化財周遊ウォーキングコースです。

鯨ヶ丘は、平安時代末から470年にわたってこの地方を治めていた佐竹氏の居城が築かれ、古くから物産の集散地として商業や文化が栄えたところです。近年では歴史ある街並みや建造物をカメラに収めるべく、足繁く通う人も多いとか…。中でも立川醤油店は、北側壁面の防災措置が鯨ヶ丘の歴史的な街並みの特徴を有することなどが評価され、昨年11月に国の登録有形文化財に登録されました。多種多様な文化財に触れながら、歴史情緒溢れるまち歩きに出かけましょう。

① 郷土資料館(梅津会館)



平成11年8月23日に国の登録有形文化財に登録。昭和11年に当時の太田町役場として建設され、昭和55年から市の郷土資料館として利用されています。

② 若宮八幡宮のケヤキ



昭和46年12月2日に県指定文化財に指定。幹周は11.4mあり、樹齢は約650年と推定されています。

③ 宮田書店



平成26年10月7日に国の登録有形文化財に登録。江戸時代に建てられた鯨ヶ丘最古の店蔵です。



④ 旧稲田家住宅  
赤煉瓦蔵



平成26年10月7日に国の登録有形文化財に登録。明治43年に地主であった稲田家の蔵として建てられました。

⑤ 立川醤油店



令和2年11月20日に国の登録有形文化財に登録。店舗部分は「切妻造」と呼ばれる三角の屋根が特徴的な木造2階建ての建物です。